

群馬県における水道事業の広域化

群馬東部水道企業団

企業団HP: <http://www.gtsk.or.jp>

1-1 企業団の概要（構成団体）

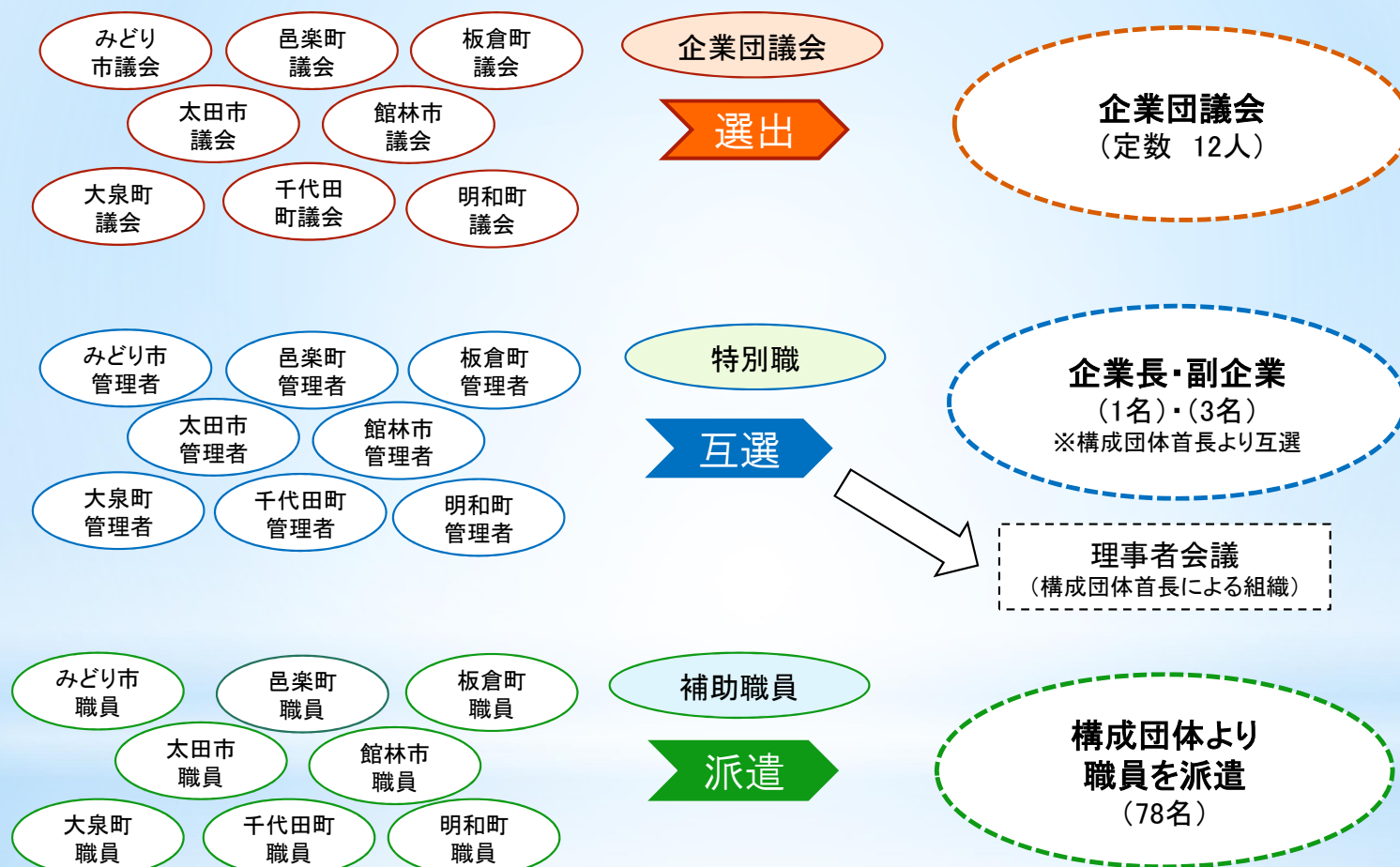


太田市	館林市	みどり市	板倉町
明和町	千代田町	大泉町	邑楽町

団体名	給水人口	事業収益
太田市	218,448	5,039,258
館林市	76,053	1,832,973
みどり市	48,508	1,106,318
板倉町	14,990	346,049
明和町	10,964	235,295
千代田町	11,203	270,539
大泉町	39,460	724,875
邑楽町	25,454	530,206
合計	445,080	10,085,513

給水人口 44.5万人・事業収益 100億円
県内最大規模の団体として安全・安心・安定を目指す

1-2 企業団の概要（議会・特別職・補助職員）



2

2-1 研究会設立に至る背景①



3

2-2 研究会設立に至る背景②



3-1 企業団設立の経緯①

□研究会による基本構想・基本計画策定

■平成24年5月31日 「8構成団体首長会議」

- ・各市町長へ広域化研究推進の打診
- ・研究会立ち上げを全首長承認

■平成24年7月2日 「群馬東部水道広域研究会設立」

■平成25年7月 「基本構想」(H27～H62)

- ・各構成団体事業評価と課題抽出
- ・広域化で目指す将来目標を設定
- ・施設統廃合等を重視した基本方針決定

■平成25年9月 「基本計画」(H27～H36)

- ・基本構想をベースに各事業計画策定
- ・事業計画を反映させた財政計画を策定

□水道事業統合協議会

■平成25年10月21日「水道事業統合基本協定調印式」

■平成25年11月26日「事業統合協議会設立」

- ・協議会メンバーは8団体首長
- ・実質的な企業団創設のための組織
- ・事業統合に向けた事務事業の専門部会を組織

(総務管理部会、営業業務部会、給水業務部会、工務建設部会、維持管理部会)

□水道統合準備室

■平成26年4月1日「水道統合準備室を設置」

■企業団設立・創設認可申請準備

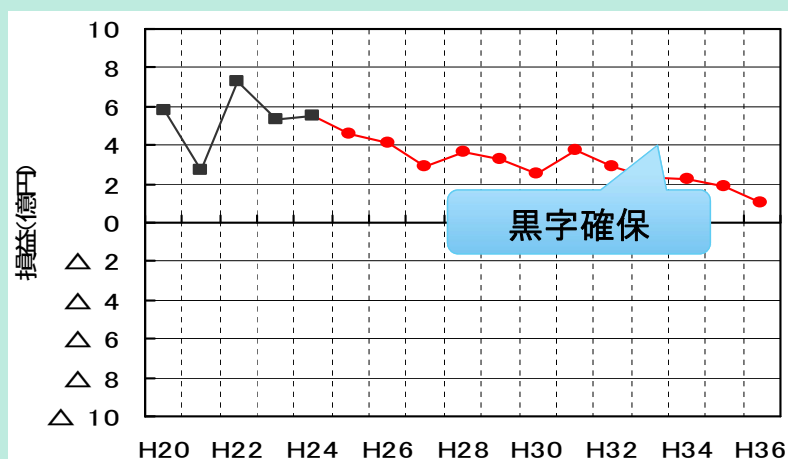
■基本構想・基本計画に基づく具現化作業スタート

■「技術・サービス・管理基準」を平準化するための組織プラン策定

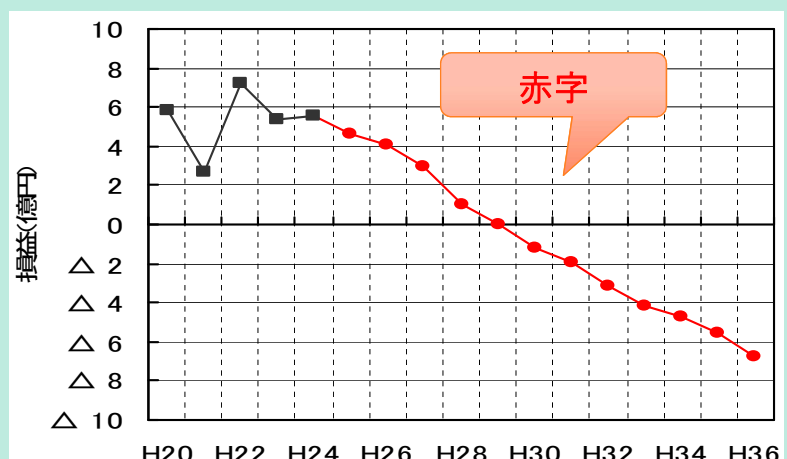
6

4-1 課題分析（財政シミュレーション）

収益的収支見通し



広域化ケース



単独ケース(東部合算値)

《単独ケース》

太田市	館林市	みどり市	板倉町	明和町	千代田町	大泉町	邑楽町
H34 赤字	H34 赤字	H29 赤字	H25 赤字	H28 赤字	H28 赤字	H28 赤字	H28 赤字

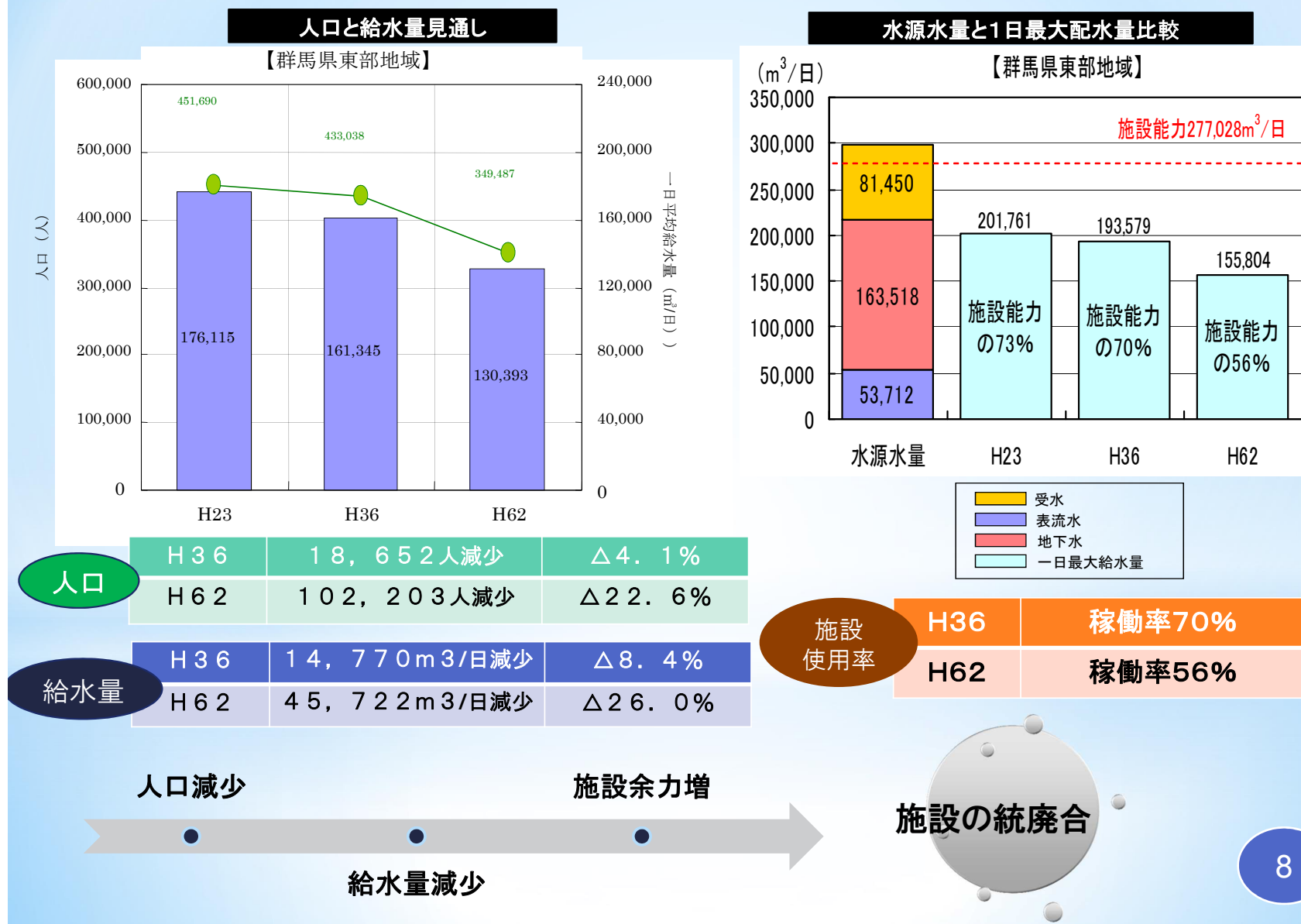
《広域化ケース》

広域企業団経営

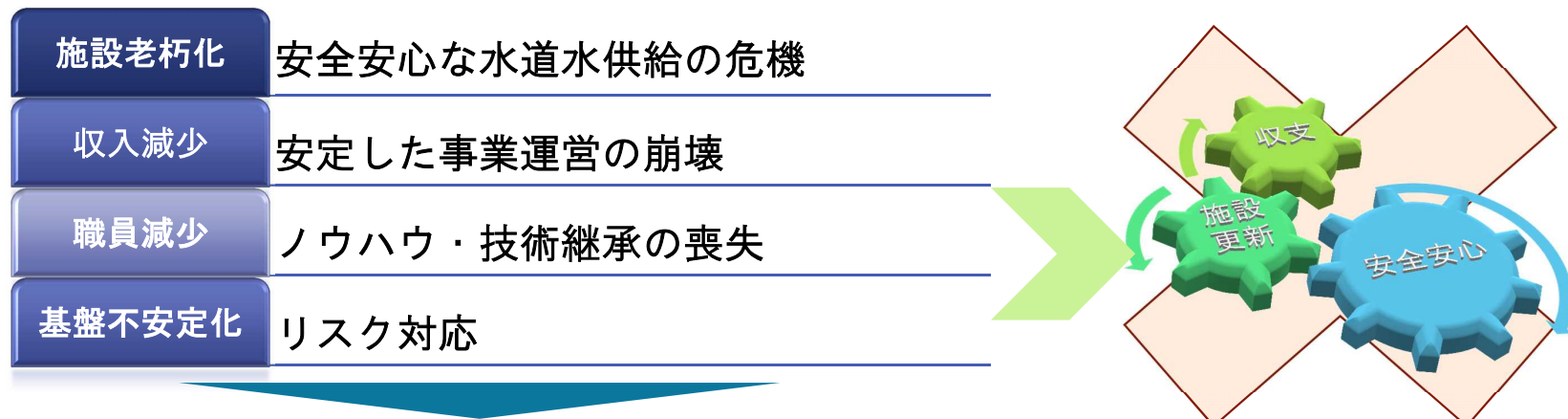
H36まで 黒字確保

7

4-2 課題分析（将来水需要予測）



4-3 課題分析（構成団体の共通の課題と効果）



広域化で改善ができた事項

- 施設の有効活用による過度な投資の抑制
- 各市町が抱える上記のような課題
- 包括業務委託等の活用による機能集約からコスト削減
- 各種災害に対するリスクマネジメント強化

単独施設更新による無駄を軽減するための早期実現

国庫補助金など活動推進する手段の積極的な活用



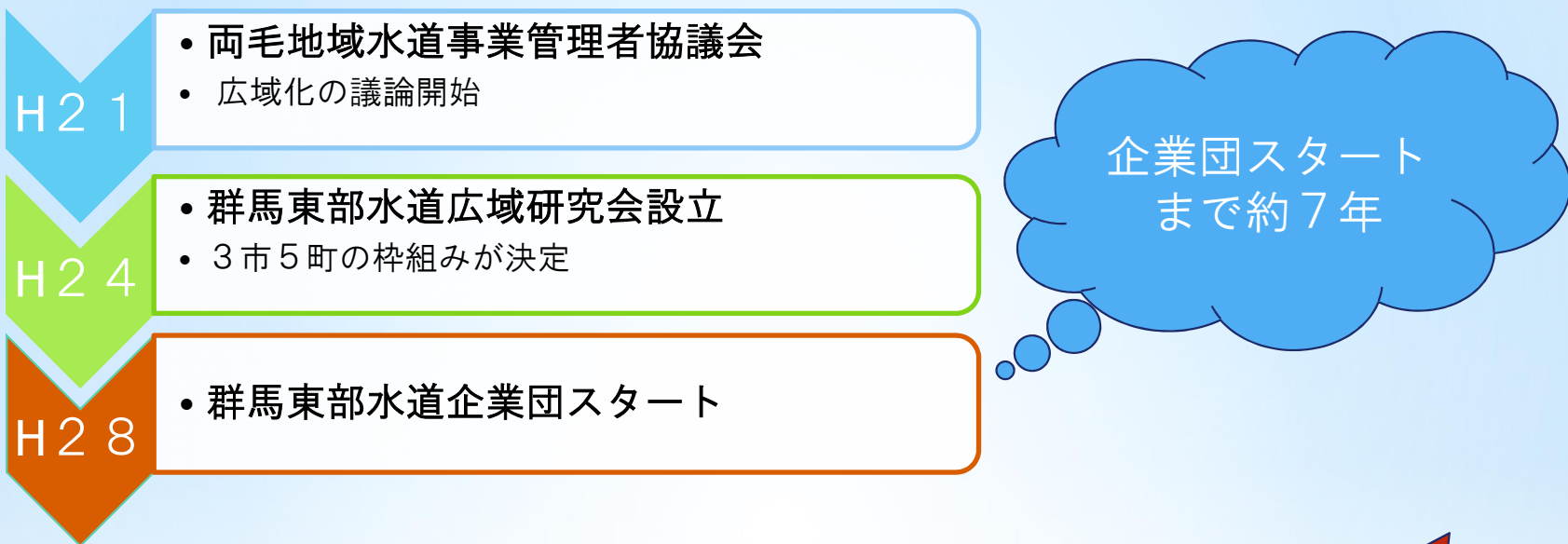
① 2015年(平成27年)12月創刊準備号

 **R70**  **PAPEL RECICLADO 100%** 古紙パルプ配合率70%再生紙と環境にやさしい大豆インキを使用しています

企業ホームページに掲載しました。さまざまな情報を公開しますので、ぜひご覧ください。 <http://www.gtsk.or.jp>

7 群馬東部水道企業団の設立

広域化を振り返って



まずは広域化

- 広域化後に調整可能な大きな課題は広域化後に調整することとした。

POINT

官民連携の推進

- 包括委託により通常業務を離れ、広域化の事務調整に時間を割くことができた。

POINT